

# めぐニュース

かぐめよし少年自然の家だより 令和8年1月発行



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は、当所をご利用いただき、厚く御礼申し上げます。本年も引き続き、ご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

少年自然の家までの道中、民家の庭先に、山の麓に、川岸にとたくさんの柿の木が目につく。そして、そのほとんどに柿の実がたわわに実っている。1月に入ったのにである。昨秋は、この辺りは、柿が表年ということ差し引いても、実りが良かった。以前に比べ、柿の実を吊るし柿にする人も減った。11月中旬に吊るしても、気温が高すぎて黴が生えてしまうのだ。そのせいか実がなったままにされている木が増えた。それにしても12月になっても、熟して実が落ちないのはどうしたことか。地域の人々の話では、12月を過ぎても実が硬いままだったという。

そういえば、最近では9月に裂開するアケビが11月になっても開いていないものがあり、11月に食べ頃を迎えるムベと一緒に食べることが出来た。アケビとムベを同じ時に食べ比べをしたのは生まれて初めてだった。今も所の裏にはムベがぶら下がったままである。イチョウの枝先にも枯れ葉や、ギンナンが付いたまま残っている。

昨年の1月にも、異常気象に触れたが、やはり、このような山の中で仕事をしていると、自然の移ろいが、いつもと同じでないことに不安を感じてしまう。今年も、多くの子どもたちが、豊かな自然の中で歓声を上げ、自然の恵みを享受出来ることを願ってやまない。

# 頂吉図鑑

～第42回～

## 空木（ウツギ）

今回ご紹介するのは、空木（ウツギ）です。別名が卯の花（ウノハナ）です。「夏は来ぬ」という唱歌で、「卯の花の匂う垣根に 不如帰（ホトトギス） 早も来鳴きて 忍び音もらす 夏は来ぬ」と、最初に登場する初夏の花です。昔は、ウツギの花を説明する際に、この歌を引き合いにしていたのですが、今ではこの歌をご存じない方も増えてきました。万葉集にも卯の花はたくさん詠まれていて、古くから親しまれていた花であることが推測できます。なかでも大伴家持による、

卯の花の過ぎば惜しみか 霍公鳥（ホトトギス） 雨間も置かずこゆ鳴き渡る

卯の花の咲く月立ちぬ 霍公鳥来鳴き響めよ 含みたりとも

という歌は、卯の花とホトトギスがセットで詠まれています。もしやと思い調べてみると、他にも十数首がセットで読まれていました。初夏を代表する花と鳥・・・夏は来ぬという唱歌は、このような背景を持って生まれたのだろうなど気づかされました。

しかしホトトギスという鳥は、鳴き声は誰もが聞いたことがあっても、姿を見た人は少ないのではないのでしょうか。昼も夜もなく大音量で鳴き続けますが、いつも高いところで鳴いて、間近に見られることはめったにない。こんな鳥が垣根にとまって鳴くことがあるのかと、「夏は来ぬ」の歌詞を聞いて思ったことがあるのは、私だけではないはずです。

今回この稿を書くにあたり、あらためてこの歌詞を読み返してみて、「卯の花が咲く頃に、ホトトギスがどこか遠くで鳴いているのが聞こえてきた」という意味ではないかと思ひ至りました。ホトトギスに、家の垣根で鳴かれたら喧しくて、かなり迷惑ですよ。

名前の由来は、枝が中空であることから、空ろな木と呼ばれたと言われています。確かに、長い枝を折ってみると、中は空洞です。このことから昔から火を熾す際の火きり棒として使われていたそうです。少年自然の家のプログラムにもある火熾し体験で、今度使ってみようと思います。別名の卯の花は、旧暦四月（卯月）に咲くことからと言われますが、卯の花が咲く月を、卯月と呼ぶようになったという説もあります。ウツギの花からウノハナとなったなどの説も・・・卯の花の「卯」についても、たくさんの方が咲く時期、産まれる時期の「産む・生む」を語源にしているのではないのかとかいて書いてある本もありました。かぐめよしでは、5月に見頃を迎えます。



## 主催事業のお知らせ

## 1月～3月

市政だより掲載号	事業名	日程	対象者・人数
1/1号	家族みんなでだんらんラン！	2月7日（土）～ 2月8日（日）	中学生以下と保護者 6 家族

応募は市政だよりをご覧ください、お申し込みください。

### 北九州市立かぐめよし少年自然の家

住所：〒803-0267

北九州市小倉南区大字頂吉451-1

電話：(093)451-3111 FAX：(093)451-3133

ホームページ：<https://www.kagumeyoshi.com/>



Facebook



Instagram





# 主催事業報告



## 第4回かぐめよし自然少年団



少しずつ、秋めいてきた11月8(土)～9日(日)、第4回かぐめよし自然少年団を開催しました。少年団では初めての実施となった、鱒淵ダム自然ウォークでは、心地よい風が吹くサイクリングロードで団員同士の会話が響いていました。長い一日でしたが、頑張りました。所に戻ってからは、野外調理や生き物探しなどを行いました。生き物探しで使ったセンサーカメラには、残念ながらはっきりとした映像は映っていませんでしたが、イノシシの足跡を発見する事ができました。(次回以降、リベンジですね！)

## 秋の福智山登山～リンドウを見よう～



爽やかに晴れた11月16日(日)、秋の福智山登山～リンドウを見よう～を開催しました。11月中旬とは思えない陽気の中、植物の説明を聞きながら登って行き、稜線まで出ると、サブタイトルにもあるリンドウを見つける事ができ、参加者も喜んでいました。

急な斜面を頑張って登り山頂に到着すると、待ちに待ったランチタイム！家族ごとにお気に入りの場所を見つけ、景色を楽しみながらご飯を食べていました。青空の下のお弁当、美味しかったですね！！



## 市民センター職員等研修会

暖かな秋晴れの中、11月21日(金)に市民センター職員等研修会を実施しました。午前中は、お正月を迎える準備となる「輪注連(わじめ)作り」を行い、2人1組で藁をたたき、協力して、素敵な輪注連を作ることが出来ました。

野外調理では、羽釜や飯盒でご飯を炊く体験や、いろりでサンマを焼き、匂を感じる食事を囲みながら、情報交換会を行いました。午後は植物散策を実施し、実りのある研修会になりました。





## クリスマスリース作り



12月7日（日）、クリスマスリース作りを行いました。葛（くず）のつるを巻いて土台を作り、その上に松ぼっくりやサルトリイバラなど、事前に準備していた自然の素材を選んで飾り付けていきます。ドイツトウヒとヒイラギの葉は、当日所内で採取しました。色合いやレイアウトを家族同士で話あって、思いが詰まったリースができました。



## ぺったんぺったんお餅つき

12月13(土)～14(日)の1泊2日で、注連飾り作りとお餅つきを行いました。注連飾り作りでは、北九州といった「鶴」ということで、稲わらを使って、藁をなうところからしました。皆さん苦戦しながら作っていましたが、最後には、とても素敵な注連飾りが



でき上がりました。

また、お餅つきでは、子ども達の元気な掛け声と共に「ぺったんぺったん」とお餅をつく音が響き渡っていました。頑張ってたいたお餅は、美味しかったですね。

## 第2回ボランティア研修会

12月21日（日）、施設ボランティア・スタッフ合同で餅つき大会を行いました。

当日はお天気が心配されましたが、みんなの元気に押されたのか、雨も降らず、寒さもそれほど感じない、ちょうど良い餅つき日和となりました。力いっぱいお餅をついたあとは、豚汁と一緒につくたてのお餅を、お腹いっぱい味わいました。普段なかなか顔を合わせる事のないボランティア同士や、施設スタッフとボランティアの交流も自然に生まれ、終始なごやかで笑顔あふれる時間となりました。

